

学習単元・内容	学習のポイント
<p>● 1 章 多項式 式の乗法・除法 式の展開 乗法公式 素因数分解 因数分解 公式による因数分解 式の利用</p> <p>● 2 章 平方根 平方根の大小 平方根の乗除 平方根の加減</p> <p>● 3 章 2 次方程式とその解 因数分解による解き方 平方根を利用した解き方 2 次方程式の利用</p>	<p>○単項式と多項式の乗法、除法及び多項式と多項式の乗法は、分配法則を用いることで計算できる。 ○式の展開の意味を理解し、多項式の積を展開するときよく利用される式は、公式として覚えることができる。 ○素数、因数、素因数、素因数分解という用語の意味を理解し、素数でない自然数は素数の積で表すことができる。 ○多項式の因数、因数分解の意味を理解し、因数分解は式の展開の逆の演算となることを理解する。 ○乗法公式は、逆にみれば因数分解の公式とみることができことを理解し、因数分解の公式を用いて因数分解ができる。 ○乗法公式が数の計算にも利用できることを知り、公式を利用して数の計算ができるようにする。</p> <p>○平方根の必要性に気づき、平方根の意味を学習します。 ○平方根は根号 (<math>\sqrt{\quad}</math>) で表されることを知り、根号 (<math>\sqrt{\quad}</math>) の使い方に慣れるようにする。 ○平方根の大小は、根号 (<math>\sqrt{\quad}</math>) の中の数の比較により 2 つの数の大小が分かることを学習します。 ○平方根の加減や乗除の計算のしかたを理解し、それらの計算ができるようになる。</p> <p>○2 次方程式、2 次方程式の解、2 次方程式を解くことの意味について学習する。 ○因数分解を利用した 2 次方程式の解き方について理解し、それを用いて 2 次方程式が解けるようになる。 ○2 次方程式が、平方根を利用して解くことができることを理解する。 ○2 次方程式を使って、いろいろな問題を解決できる。</p>

評価・評定について				
	関心・意欲・態度	見方・考え方	表現・処理	知識・理解
観点の割合	25%	25%	25%	25%
評価事項	ファイル提出 ワーク提出 ノート提出 レポート提出 週末課題提出 夏休みの課題提出 発表・授業態度など	レポート評価 定期試験 授業取り組みプリント	小テスト 定期試験 ワーク内容	小テスト 定期試験 夏休み課題内容

備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークや数学ファイルの提出は事前に確認印を押してもらって提出します。</li> <li>・提出物は期限を守って必ず提出しましょう。</li> <li>・授業で取り組んだプリントはファイルにとじておきましょう。ファイル提出のとき確認します。</li> <li>・レポートの評価は、内容の評価と提出期限が守れたかの 2 つの観点で評価します。</li> <li>・定期試験・小テストや提出物、授業での取り組みなどがほぼ 100% であれば評定が 9 および 10 となります。また、評価・評定のための資料がほとんど得られなかった場合は 2 あるいは 1 となります。</li> </ul>

